ほほえみ

題字は、デイサービス利用者の佐竹悦子様の作品です。

— 第88号 —

表紙の話

右の写真は、敬老の催事で、三川町長様よりお祝い対象の方々へ賀詞をいただいた後に撮影した写真の一枚です。
左の写真は、季節行事として白糸の滝まで紅葉狩りに出かけた時の写真です。
今後も感染予防対策を講じながら、皆様から楽しんでいただける行事を企画していきます。

発行

社会福祉法人 けやき

特別養護老人ホーム
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護施設
デイサービスセンター
居宅介護支援事業所
ホームヘルパーステーション

シニアハウスけやき
なの花荘　配食サービス

なの花荘

〒997-1301
山形県東田川郡三川町大字横山字堤189番地2
TEL 0235(66)4831　FAX 0235(66)4882
ホームページ　https://www.nanohanaso.or.jp

発行責任者　本　多　一　明
発　行　日　令和4年11月15日
印　　刷　鶴岡印刷株式会社

従来型特養

春から夏に掛け「スイカ」と「キュウリ」「トマト」を栽培し、大成功に終わりました。「こんどは白菜ど大根を植えよ」との入居者様の要望で栽培した結果、白菜も徐々に巻き始め、二十日大根は綺麗な赤みを帯びて、収穫することができました。「こいだば立派だ。酢と砂糖と塩を混ぜだなで漬ける、うめよ」と教えてくださり、一緒に漬けました。他に「塩麹漬け」も作り「うめごど。やっぱり自分で植えだなは（他とは）違う」と大成功を共に喜び合いました。「来年もするさげちゃんと覚えでおがねまねの」と今から意欲満々です。

「女心と秋の空」の言葉通り、今年は天気・気温の変化が激しい秋でしたが、暖かい日を見計らって、荘外散歩に出かけました。青空が晴れ渡り、綺麗な鳥海山と黄金色の稲穂が広がる景色に「まんずきれいだの。庄内でねば見らいね」と嬉しそうな笑顔で眺めていました。

また、調理活動では「スイートポテト」「甘酒蒸しパン」を作りました。入居者様からはサツマイモをすり潰したり、生地を混ぜたりしていただきました。「うまいぐいったの。こいだばうめちゃ」と大満足のおやつが出来あがりました。

『お買い物デイ』テレビ放映

入居者様にお買い物の楽しみを感じていただきたいとの思いから、なの花荘では定期的に「お買い物デイ」を開催しています。職員が準備したお菓子やジュース等の他、南銀座池田様から、衣類の出張販売に来ていただいております。

その南銀座池田様が全国放送「日本のチカラ　幸せの夢をよぶ～山形唯一のミニデパート物語～」で紹介され、なの花荘での出張販売の様子が、テレビで放映されました。

県内では八月六日にテレビ放映され、なの花荘でも入居者様と職員で一緒に鑑賞しました。

お買い物している様子やインタビューを受けている場面がテレビに映ると「あれ、おれ映った～」「買い物楽しっけの～」等との声があがり、盛り上がりました。

ユニット型特養

今年も半年以上過ぎましたが、コロナ第七波の影響もあり、行事はいつも通りとはいかず、ユニット内でのお菓子作りを多く行っている状況です。今回は、どら焼き作りを行い、あずきの他にサツマイモのあんを準備して好きなように挟んでもらいました。小刻み食やミキサー食の方は、どら焼きの皮を軟らかくして潰したものとあんを一緒に食べていただきました。また、十月は、秋の果物が多く取れるので、旬の果物をおやつで提供し、季節を感じていただきました。

ラーメン好きの入居者様が、食べに行きたくてもコロナ禍で外食に行けず、我慢を強いられていました。「願いを叶えてあげたい」「何かできることはないか」と考え、道の駅「マイデル」に設置してあるラーメンの自販機に職員と一緒に出かけました。自分で選んで本格的ラーメンを買うことができ、施設に戻って、職員が調理したラーメンを食べました。久々のラーメンは格別だったようです。

デイサービス スポーツの秋

例年、冬期間の運動不足解消という目的で二月に運動会を開催していますが、今年は身体機能の維持・向上を図ると共にスポーツの秋を感じていただきたく、九月にも「秋の大運動会」を開催しました。季節の移ろいを感じてもらいながら身体を動かすにはどうすればいいか…??と検討した結果、秋の食べ物を競技に取り入れることにしました。各競技とも、大接戦で、大変白熱した運動会となりました。

かんばれ〜！
応援にも力が
入りました。

栗拾い

柿入れ

柿はお手玉に新聞紙を巻き、その上からオレンジ色と緑色の折り紙を貼って庄内柿に見立て「本物の柿みでだ！」と喜んでもらえました。栗拾いは栗の絵を紙にプリントした物を箸を使って掴むことで手先の運動になるようにしました。薄い紙に書いてある栗にも関わらず、みなさん上手に挟んで紙箱に入れていました。もちろん柿も紙の箱も利用者様が作ってくれたものです。

食欲の秋

食欲の秋！十月はパンケーキ作りをしました。感染症対策でパンケーキは職員が焼きましたが、トッピングに関しては皆さんから自分の好きな物を選んでいただきました。パンケーキと共に炭酸飲料も提供し、普段とは違ったおやつの時間を楽しんでいただくことができました。

デイサービスでは利用者様が四季を通じて季節の移り変わりを実感できるようなレクリエーションや行事を提供しています。デイサービスを利用することで生活の中に新たな楽しみを見つけていただけるよう、今後も様々な行事等を企画していきたいと考えています。

文化の秋

三川町主催の「みかわ秋まつり」の「展示部門」に、今年度も、なの花荘から作品を出品しました。デイサービスでは松ぼっくり等の手芸品、ショートステイではちぎり絵、従来型特養では吊るし飾り等を作りました。その他、特養入居者様による習字クラブの作品も展示しました。うまく手を動かすことができない方でも、その方ができることをしていただくよう支援して、他の方達や職員と一緒に力を合わせて作品を作り上げることができました。

みかわ秋まつりで掲示した後は、なの花荘内に作品を展示して「なの花荘文化祭」を開催し、入居者様にも楽しんでいただいています。

◆厨房便り◆

10月4日に行われた敬老会では、行事食の**敬老会お祝い献立**を提供しました。
主菜は、なの花荘でいつも大好評の「鮭と胡麻豆腐のあんかけ」でした。
手作りのあんは、時間をかけて一方向に練ることで、艶やかでコシがあるのが特徴です。
副菜の「菊の和え物」には、食用菊（もってのほか）を使用し、彩り良く仕上げました。
もって菊は、香り高く、シャキシャキとした歯ごたえとほろ苦い味わいです。
アントシアニンが含まれていることによる綺麗な紫色は、目でも楽しませてくれます。入居者様、利用者様からも「きれいだの～」「懐かしいの～」と喜びの声が多く聞かれました。

お品書き

- きのこ御飯
- 鮭と胡麻豆腐のあんかけ
- 菊の和え物
- 葱入り卵焼き
- 三つ葉と花麩の清汁

ブラストチラー導入しました

なの花荘では、7月に新たな厨房機器としてブラストチラー(急速冷却機)を導入しました。食品を急速に冷却することができるので、菌の増殖を防ぎ、最適な温度帯での食品管理ができるようにとなりました。
安全性･美味しさ･品質の向上を図るためだけでなく、適切な温度管理を行うことで、前日調理も可能となり、早朝に勤務する調理員の負担軽減も図られています。

避難訓練

当法人では、防災計画に基づいて定期的に避難訓練を実施しています。
火災想定の他、サービス付き高齢者向け住宅シニアハウスけやきと合同で水害発生時の訓練も行い、自然災害にも備えています。
訓練時には役割分担を明確にし、どんな場合にも入居者様・利用者様の安全確保を第一とした避難ができるよう繰り返し励んでいます。
「備えあれば憂いなし」の言葉通り、日常的に防災の意識を持ちながら、今後も有事への備えを徹底してまいります。

求人情報

介護員（パート）

◇問い合わせ先
ハローワークまたは
TEL 0235-66-4831
担当：菅原

金品の寄贈者・ボランティア御芳名

令和四年八月～令和四年十月（順不同）

菅原　正様
進藤　さた子様
本間　祐司様
齋藤　学様
小玉　妙子様
つくしの会様
理容ボランティア有志の皆様
（佐藤千賀子様、坂まり子様、齋藤直人様、鈴木美恵様、豊田千鶴様）

大勢の皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。

編集委員

安達由紀　石川久美子
石塚実央　太田紗貴
大場美枝子　佐藤郁美
明賀芳友